

平成16年1月22日

各関係機関長 様

高知県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について

病害虫発生予察特殊報第4号を送付します。

平成15年度病害虫発生予察特殊報第4号

平成16年1月22日
高知県病害虫防除所

1. ウイルス名 Melon yellow spot virus (MYSV)

2. 発生作物 スイカ

3. 発生面積 約1ha

4. 発生経過

平成15年11月に土佐市、また同年12月に大方町のいずれもスイカの葉及び果実に病害と思われる障害が発生した。ともに高知県農業技術センターで接種試験、ELISA及びRT-PCRにより同定を行った結果、Melon yellow spot virus (MYSV)による病害であることが明らかになった。これまでMYSVは自然条件ではキュウリ、メロンでしか感染が確認されておらず、スイカでの感染確認は初めてである。

5. 病徴

葉には不鮮明なえそや日にかざすと黄色に縁取られた小型で褐色の斑点が多数生じる。また果実は小型化し、表面は波打ったように奇形となり、果皮の表面及び内部にえそを生じる。



写真1: 葉での症状



写真2: 果実でのえそ症状

写真をクリックすると大きな写真がみられます

6. 発生生態

アザミウマ類によって伝搬されるが、媒介種についてはミナミキイロアザミウマ以外は不明である。土壌伝染、種子伝染はせず、接触伝染の可能性も低い。

汁液接種試験の結果ではウリ科のキュウリ、メロン、シロウリ、ナス科のタバコ、ペチュニア、マメ科のササゲなどに病原性を示すが、寄主範囲は比較的狭い。

これまでスイカでは汁液接種試験でも感染せず、現地でも発生は確認されていなかったが、感染が確認されるようになった原因については不明である。

7. 防除対策

(1) 発生ほ場では感染株の抜き取り・埋没処分などを行い、媒介虫であるアザミウマ類の防除を徹底する。

(2) アザミウマ類の防除に当たっては薬剤防除のみではなく、ハウス開口部への防虫ネットの被覆、シルバーポリマルチの利用、栽培終了時のハウスの蒸し込み処理、ほ場及び周辺の除草など

耕種的、物理的な防除法を取り入れる。

(3) 本県ではすでにキュウリ、メロンにおいてMYSVが蔓延しているので、これらの作物の栽培が多い地域では特に注意する。

(4) 診断の際にはELISAでは葉からはウイルスが検出されない場合があるので注意する。

以上